1 特長

この時計は、時刻表示機能（時、分）のほかに、以下の機能を備えています。

●レフェリータイマー機能…………サッカー競技の試合時間計測を目的に主にレフェリー向けの機能を充実させています。5分〜45分まで、5分刻みで試合時間（ハーフ）の選択設定ができます。ロスタイムの計測もできます。

●バイブレーション機能……………時間経過等を告知する方法として「振動」を選択することにより、計測者自身にのみ時間経過を告知することが可能です。告知方法は「音」・「OFF（告知なし）」・「振動」の中から、状況に応じた選択ができます。

●ワンタイムアラーム機能…………設定した時刻に1回だけ告知するアラームがセットできます。アラーム音や振動のお試しも可能です。

●フルオートカレンダー機能………うるう年の2月も含め、月末のカレンダー修正の必要がありません。（2006年1月1日〜2050年12月31日）

●電池寿命切れ予告機能……………▭マークが点滅します。

●内部照明（EL）機能　……………内部照明により夜間や暗い場所でも表示が確認できます。専用のボタンを一回押すと約3秒間点灯します。ある物質に電圧をかけると光を放つ現象（エレクトロルミネッセンス=EL）を利用した発光方式を採用しています。

※エレクトロルミネッセンス（EL）の発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が低下する特性を持っています。また、点灯中はわずかに音がしますが、これは駆動用の昇圧回路が出す音で異常ではありません。ELについて詳しくは「7内部照明（EL）機能について」28ページをご参照ください。

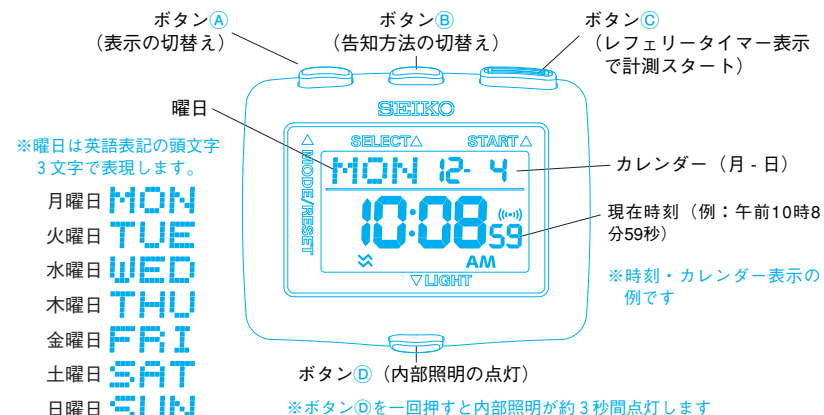
2 ボタンの名称と表示の切替え

ボタンⒶ（表示の切替え）
ボタンⒷ（告知方法の切替え）
ボタンⒸ（レフェリータイマー表示で計測スタート）
曜日
※曜日は英語表記の頭文字3文字で表現します。

月曜日 MON
火曜日 TUE
水曜日 WED
木曜日 THU
金曜日 FRI
土曜日 SAT
日曜日 SUN

SEIKO
SELECT△ START△
MODE/RESET
MON 12- 4
10:08 59
AM
▽LIGHT

カレンダー（月 - 日）
現在時刻（例：午前10時8分59秒）
※時刻・カレンダー表示の例です

ボタンⒹ（内部照明の点灯）
※ボタンⒹを一回押すと内部照明が約3秒間点灯します

●ボタンⒶを押すごとに次の順序で表示が切替わります。

※上図はワンタイムアラームを「午前10：30」にセットし、告知方法として「振動」を選択している場合の表示例です。

●告知方法の切替えについて

「時刻・カレンダー表示」において、ボタンⒷを押すと告知方法の切替えができます。
「音」＝マーク、「OFF（告知なし）」＝OFFマーク、「振動」＝マークがそれぞれ点灯します。

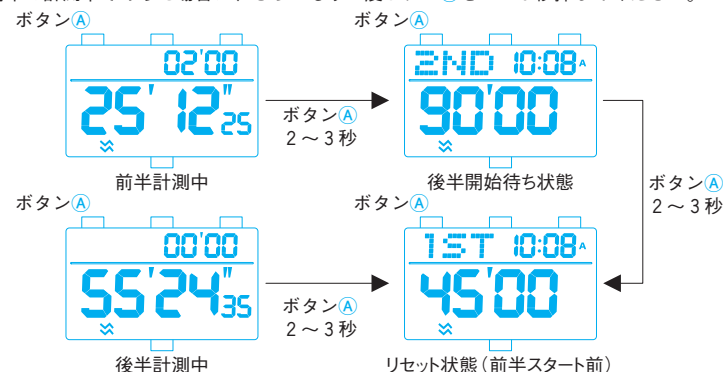
※「振動」→「音」に切替えると「ピッ（音）」と、また「OFF（告知なし）」→「振動」に切替えたときに「ブ（振動）」とそれぞれ短く操作確認としてお知らせします。

機能・表示	操作や状態	選択した告知方法別のお知らせ内容		
		振　動	音	OFF（告知なし）
表示の切替え	ボタンⒶによる切替え操作時	無音、無振動	ピッ	無音、無振動
ワンタイムアラーム	アラーム設定時刻になった時	ブーブー（繰り返し）	ピーピー（繰り返し）	無音、無振動
レフェリータイマー	計測スタート操作時、ロスタイムのスタート／ストップ操作時	ブ	ピッ	無音、無振動

※レフェリータイマー機能では、様々な告知機能があります。詳しい説明は、「3レフェリータイマー機能の使いかた」8ページ～をご参照ください。

！ポイント！
告知方法の切替えはレフェリータイマー機能がリセットされていないとできません。
レフェリータイマー機能が作動中、または後半（2NDハーフ）開始待ちの状態では告知方法の切替えができませんのでご注意ください。

例）「レフェリータイマー表示」で左図のように「1ST」が表示されているとリセット状態です。

● レフェリータイマー機能のリセットのしかた
1．ボタンⒶを押して「レフェリータイマー表示」にしてください。
2．ボタンⒶを２～３秒押すとリセット状態になります。
　前半の計測中であった場合は、さらにもう一度ボタンⒶを２～３秒押してください。

3 レフェリータイマー機能の使いかた

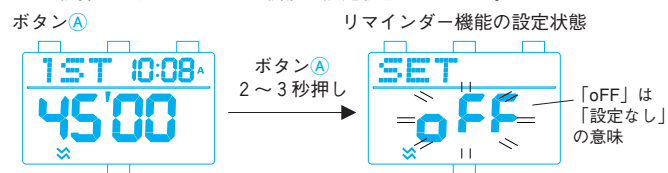
・サッカー競技の時間計測にあった機能を備えています。
・試合の計測中は、基本的にボタンⓒだけで操作できます。
・前後半通算での時間計測・表示に加えて、ロスタイムの計測・表示もできます。
・計測経過の告知方法を「音」「OFF（告知なし）」「振動」の3種類から選択できます。
「時刻・カレンダー表示」において選択した方法により告知します。
・試合時間終了の前にお知らせするリマインダー機能の設定も可能です。

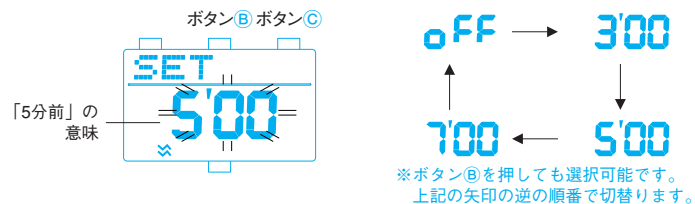
●サッカーの試合での具体的な使いかた（振動告知を選択する場合の例）
〈〈試合前の準備〉〉
1．告知方法として「振動」を選択しておきます。
　選択方法については「●告知方法の切替えについて」5ページをご参照ください。
2．試合時間（ハーフ）として45分ハーフ（前後半トータル90分）を選択します。
　①ボタンⒶを押して、「レフェリータイマー表示（リセット状態）」にします。
　※リセットする場合は「●レフェリータイマー機能のリセットのしかた」7ページをご参照ください。
　②ボタンⒷを押すたびに、5分～45分までの範囲で5分刻みで試合時間（ハーフ）の選択が可能です。この説明例の場合は45分を選択します。

※試合時間（ハーフ）の設定は、前半／後半とも同じ時間の設定になります。

3．必要に応じてリマインダー機能を設定します。
・前半／後半、それぞれの終了時間前に、終了間近であることを告知します。
・「７分前」「５分前」「３分前」「OFF（設定なし）」のいずれかの選択ができます。

①ボタンⒶを押して、レフェリータイマー表示（リセット状態）します。
※リセットする場合は「●レフェリータイマー機能のリセットのしかた」7ページをご参照ください。

②ボタンⒶを２～３秒押すと、リマインダー機能の設定状態になります。

③ボタンⓒを押すと下記の順番で選択できます。例として「５分前」を選択します。

※ボタンⒷを押しても選択可能です。
上記の矢印の逆の順番で切替ります。

※この状態で１～２分間操作をしないと自動的に「レフェリータイマー表示（リセット状態）」に戻ります。

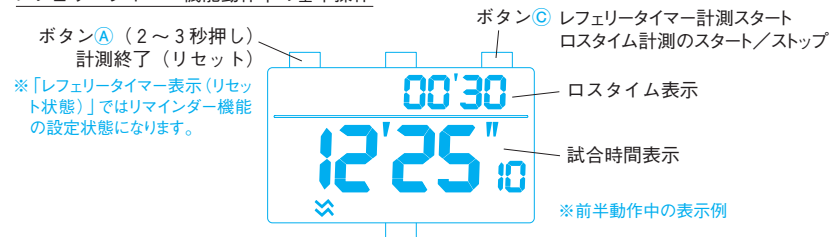
④設定が終わったら、ボタンⒶを押して「レフェリータイマー表示」に戻してください。
※設定の変更は、レフェリータイマー機能がリセット状態のときのみ可能です。
※前半も後半も同じリマインダー機能設定で使用することになります。

〈〈試合中の使いかた〉〉

※スタートするまでは右上に現在時刻
が表示されます。
スタート後はロスタイム表示になります。

レフェリータイマー機能動作中の基本操作

※「レフェリータイマー表示（リセット状態）」ではリマインダー機能の設定状態になります。

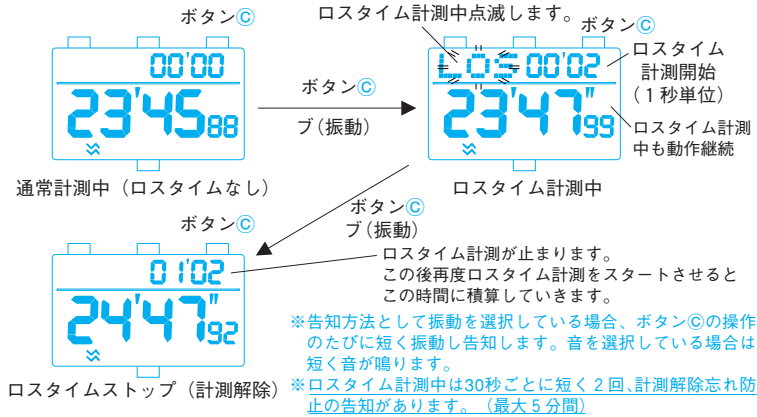
※前半動作中の表示例

・計測スタートした後、試合時間表示はその後のロスタイム計測操作では止まりません。
・動作中に計測終了したいときはボタンⒶを２～３秒押してリセットします。
この操作で前半計測中は後半開始待ち状態に、後半開始待ち状態と後半計測中は「レフェリータイマー表示（リセット状態）」に切替ります。

※アクシデントなどで試合時間表示自体の動きを一旦止めたい場合については「●試合時間計測のストップ操作について」19ページをご参照ください。

★試合（前半）開始　～　試合中（ロスタイム計測を含む）の操作・動作例
・計測スタート：ボタンⓒでスタートします。

※前半は0秒から計測・表示します。

・試合中断によるロスタイム計測のやりかた
　ロスタイムの「スタート／ストップ」すべてをボタンⓒで行います。

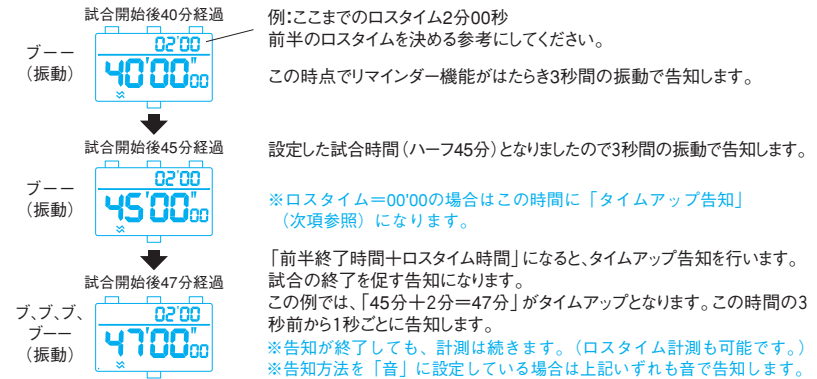
※告知方法として振動を選択している場合、ボタンⓒの操作のたびに短く振動し告知します。音を選択している場合は短く音が鳴ります。
※ロスタイム計測中は30秒ごとに短く２回、計測解除忘れ防止の告知があります。（最大５分間）

★試合中　～　前半終了時の動作例
・この例では試合時間（ハーフ）を「45分間」に、リマインダー機能を「5分前」に設定しておりますので、
　試合開始後40分経過した時点でリマインダー機能（振動による告知）がはたらきます。

例：ここまでのロスタイム2分00秒
前半のロスタイムを決める参考にしてください。

この時点でリマインダー機能がはたらき3秒間の振動で告知します。

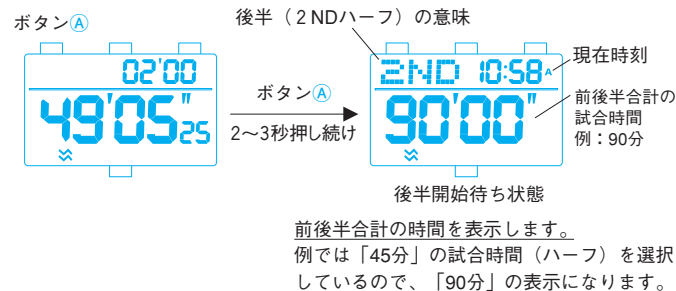
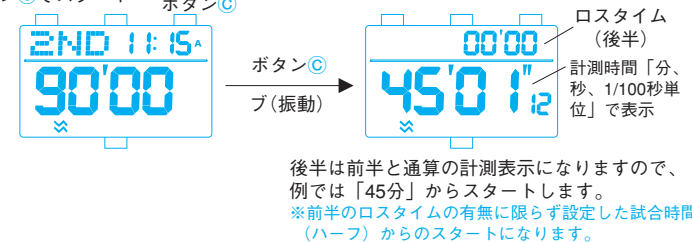
設定した試合時間（ハーフ45分）となりましたので3秒間の振動で告知します。

※ロスタイム＝00'00の場合はこの時間に「タイムアップ告知」
（次項参照）になります。

「前半終了時間＋ロスタイム時間」になると、タイムアップ告知を行います。
試合の終了を促す告知になります。
この例では、「45分＋2分＝47分」がタイムアップとなります。この時間の3秒前から1秒ごとに告知します。
※告知が終了しても、計測は続きます。（ロスタイム計測も可能です。）
※告知方法を「音」に設定している場合は上記いずれも音で告知します。

★前半終了　～　後半の準備の操作例
前半終了後、ボタンⒶを２～３秒押して計測をリセットし後半開始待ち状態にします。

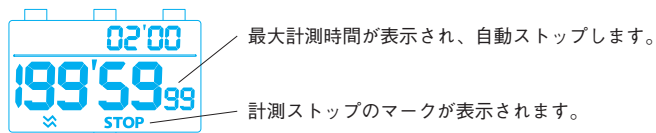
前後半合計の時間を表示します。
例では「45分」の試合時間（ハーフ）を選択しているので、「90分」の表示になります。

★後半開始　～　試合終了までの操作例

後半は前半と通算の計測表示になりますので、
例では「45分」からスタートします。
※前半のロスタイムの有無に限らず設定した試合時間（ハーフ）からのスタートになります。

・後半計測中もロスタイム計測の方法は、前半と同じです。
・リマインダー機能はこの例では後半終了5分前＝計測時間85分経過時に3秒間告知します。
・後半終了時間（この例では90分経過時）に3秒間告知します。
　※ロスタイム＝00'00の場合はこの時間に「タイムアップ告知」になります。
・「後半終了時間＋ロスタイム時間」になると、タイムアップ告知を行います。３秒前から告知を開始しジャストの時間で３秒間告知します。
・試合終了後、ボタンⒶを２～３秒押して表示をリセットしてください。
　表示は「レフェリータイマー表示（リセット状態）」に戻ります。

●計測時間の範囲について
・サッカーの試合の計測時間としては、通常は90分までですが、ロスタイムも含めた時間管理を想定し、最大199分59秒99まで計測が可能となっております。

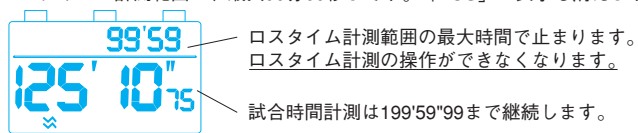
最大計測時間が表示され、自動ストップします。

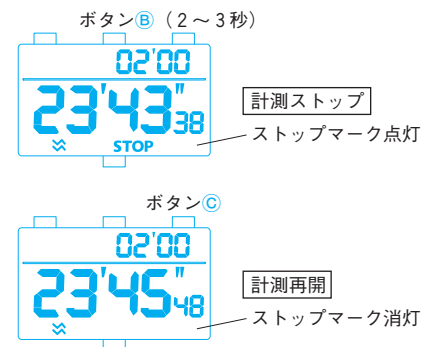
計測ストップのマークが表示されます。

計測時間が最大になった状態

※次の計測のためには、ボタンⒶを2〜3秒押してください。前半の計測中だった場合、後半の計測は通常に行なえます。

・ロスタイムの計測範囲は、最大99分59秒99です。「LOS」の表示も消えます

ロスタイム計測範囲の最大時間で止まります。
ロスタイム計測の操作ができなくなります。

試合時間計測は199'59"99まで継続します。

ロスタイムが最大になった状態 ※ロスタイム計測の操作以外は通常に操作できます。

●試合時間計測のストップ操作について
・試合中の大きなアクシデントなどでタイマー自体の時間計測を途中で一旦止めたい場合は、計測中にボタンⒷを2〜3秒押します。STOPマークが点灯し計測動作が止まります。
ボタンⒸを押すと計測を再開します。

●サッカータイマー機能における告知内容の一覧表

状　況	選択した告知方法による告知内容			備　考
	振　動	音	OFF（告知なし）	
計測スタート、ロスタイム計測のスタート/ストップ	ブ	ピッ	無音、無振動	
ロスタイム計測中のお知らせ	ブーブー	ピーピー	無音、無振動	30秒ごと、5分間継続。計測解除操作忘れ防止。
リマインダー（各ハーフ終了時間前のお知らせ）	ブーー（3秒）	ピー（2秒）	無音、無振動	7分前、5分前、3分前、OFF（設定なし）から選択。
各ハーフ終了時間のお知らせ	ブーー（3秒）	ピー（2秒）	無音、無振動	ロスタイムがある場合にのみこの告知があります。
タイムアップ音（ハーフタイム＋ロスタイム）	ブ、ブ、ブ、ブーー（3秒）	ピッ、ピッ、ピッ、ピー（2秒）	無音、無振動	ロスタイムが無い場合は、各ハーフ終了時間にこの告知を行ないます。

※「ブ」または「ピッ」等は、告知の様子を文字で表現してありますので、実際の告知については操作してご確認ください。

4 ワンタイムアラームの使いかた

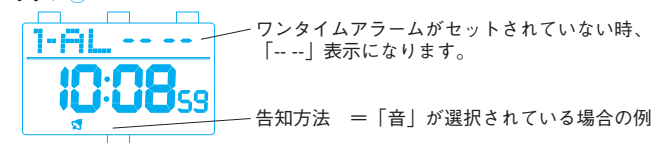
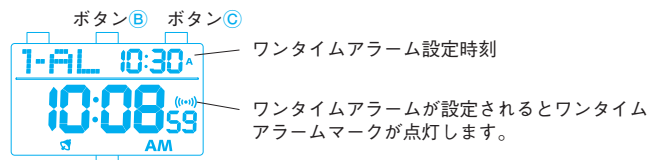
・現在時刻からアラーム時刻を設定するので、現在時刻に近い時刻に設定する場合に便利です。
・ワンタイムアラームは１回アラームが鳴るとキャンセルされます。
・１分単位での時刻設定が可能です。
・前後半の間の休憩時間（ハーフタイム）の時間管理にも便利です。

ワンタイムアラームの告知は「時刻・カレンダー表示」で設定した「音」「OFF(告知なし)」「振動」のいずれかの告知方法で行われます。
「OFF(告知なし)」が選択されていると、アラーム時刻の設定はできても、まったく機能しません（振動も音もありません）ので、ご注意ください。
告知方法の設定のしかたは「●告知方法の切替えについて」5ページをご参照ください。

●ワンタイムアラーム時刻の設定のしかた
①ボタンⒶを押して、ワンタイムアラーム表示にしてください。

ボタンⒶ

ワンタイムアラームがセットされていない時、「-- --」表示になります。

告知方法　＝「音」が選択されている場合の例

②ボタンⒷまたはⒸを押してワンタイムアラーム時刻を設定してください。
ボタンⒸを押すと１分ずつ進みます。押し続けると15分単位で早く進みます。
ボタンⒷを押すと１分ずつ戻ります。押し続けると15分単位で早く戻ります。

③ボタンⒶを押して、「時刻・カレンダー表示」などに戻してください。
※ボタンⒷまたはⒸが押され、ワンタイムアラーム設定時刻が変わることを防ぎます。

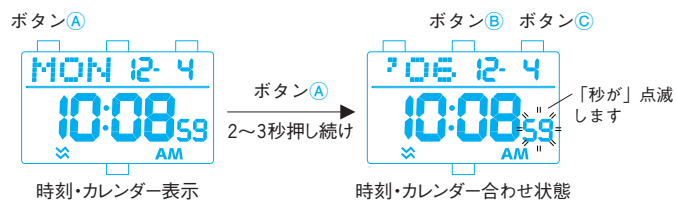
●鳴っているワンタイムアラームを止めるには
ワンタイムアラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続きます。
鳴っているアラーム音を途中で止める場合は、ボタンⒶ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓのどれかを押してください。
※どの表示の時でも、この操作は可能です。
※ワンタイムアラームは1回鳴ると自動的に設定がキャンセルされ((•))マークは消灯します。

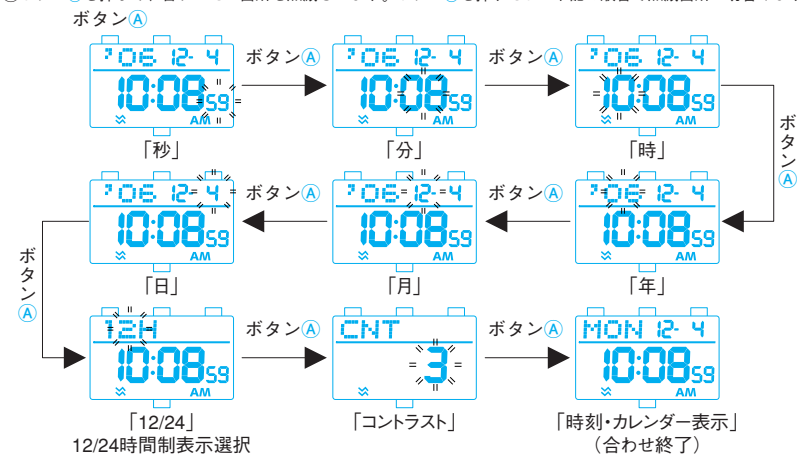
●ワンタイムアラーム設定時刻の確認
「ワンタイムアラーム表示」にしてください。このとき、設定してあるワンタイムアラーム時刻が右上に表示されます。

●ワンタイムアラーム時刻の修正または、キャンセルする方法
ボタンⒷまたはボタンⒸを押して、ワンタイムアラーム時刻の修正ができます。
ワンタイムアラームをキャンセルするには、ボタンⒷとⒸを同時に押すか、ボタンⒷまたはⒸを押してワンタイムアラーム時刻を現在時刻の時・分と一致させてください。

●ワンタイムアラーム音の試し聴き
アラーム音を試し聴きしたい時は、ワンタイムアラーム表示にてボタンⒷとⒸを２～３秒間以上押し続けてください。押し続けている間ワンタイムアラーム音が鳴ります。
※この操作をした後は、ワンタイムアラームがキャンセルされますので、必要に応じてワンタイムアラームを設定し直してください。
※告知方法で「振動」が選択されている場合は、この操作は振動のお試しになります。

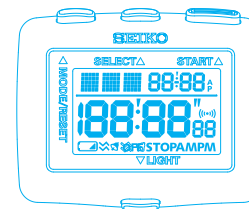
5 時刻・カレンダーの合わせかた

①ボタンⒶを押して「時刻・カレンダー表示」にしてください。
②ボタンⒶを２～３秒間押し続けて「時刻・カレンダー合わせ状態」にしてください。

※この状態で１～２分間操作をしないと自動的に時刻表示に戻ります。

③ボタンⒶを押して、合わせたい箇所を点滅させます。ボタンⒶを押すたびに下記の順番で点滅箇所が切替ります。

④ボタンⒷまたはⒸを押して合わせます。
ボタンⒸを押すごとに点滅している所が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。
ボタンⒷを押すごとに点滅している所が1つずつ戻り、押し続けると早く戻ります。

※12/24時間制表示選択・・・
ボタンⒷ、ボタンⒸどちらを押しても「12H」（12時間制）か「24H」（24時間制）が交互に点滅します。
12時間制表示を選択した場合は「AM」（午前）または「PM」（午後）マークで午前、午後が表示されます。
※秒合わせ・・・・・・・
「秒」を点滅させ時報に合わせてボタンⒷまたはⒸを押すと、00秒に合います。
「秒」が30〜59秒のときは「分」が1分繰り上がって00秒に合います。
※コントラスト調整・・・
液晶パネルのコントラスト（濃淡）を調整できます。
一般的に低温環境では表示が薄くなる傾向があります。状況と見やすさに応じて1（薄い）〜7（濃い）の範囲で選択してください。システムリセットまたは電池交換後は初期状態である「3」になるので、必要に応じて合わせ直してください。システムリセットについては「6システムリセットについて」28ページをご参照ください。

⑤合わせ終わったら、ボタンⒶを押して「時刻・カレンダー表示」に戻してください。
※さらに修正する必要がある場合は、操作②からやり直してください。

●全点灯表示
時刻とカレンダー合わせ状態でボタンⒷ、Ⓒ両方が同時に押された場合、下記のような「全点灯表示」になります。これは点検時などに技術者が表示を確かめるための状態であり故障ではありません。
その場合は、ボタンⒶ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓのどれかを押してください。「時刻・カレンダー表示」に戻りますので、あらためて、上記の操作②からやり直してください。

6 システムリセットについて

・万一異常な表示（読めない表示など）となった場合、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。
・システムリセットのしかた
Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ４つのボタンを同時に2〜3秒間押しますと、一旦表示が消えた後「2006年1月1日　午前12時00分00秒　12時間制表示、コントラスト＝3、告知方法＝音、サッカータイマー計測時間45分ハーフ、リマインダー設定＝なし」の表示／設定になります。
※システムリセット後は、日付・時刻合わせが必要となりますのでご注意ください。

7 内部照明（EL）機能について

・内部照明として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
※ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約120時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。電池を交換しても暗すぎる場合は、ELパネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

8 液晶パネルの交換

この時計の液晶パネルは、７年を過ぎますと、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

9 電池についてのお願いとご注意

電池について
（１）電池寿命
この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約３年間作動します。
・ワンタイムアラーム機能 １日1回使用、内部照明（EL）機能 １日1回使用を基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
また、サッカーの試合回数で換算しますと約550試合分の電池寿命となります。（告知方法を振動に設定し、試合時間ハーフ45分、1試合あたりロスタイム計測を15回、ワンタイムアラーム機能を1回使用した場合）
（２）最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
（３）電池交換
①電池交換は、必ずお買い上げ店または、セイコー取扱店で「セイコー純正SB」とご指名の上、

ご用命ください。

②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

③電池交換は、保証期間内でも有料になります。

④電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。

（４）電池寿命切れ予告機能

・マークが点滅したら、電池寿命切れが間近ですのでお早めにお買い上げ店、またはセイコー取扱店で電池交換をご依頼ください。

・マークが点滅すると内部照明（EL）機能と振動機能が使えなくなりますが故障ではありません。（振動機能は告知方法として選択ができなくなります。）

⚠ 警告

1. お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2. やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池は直ちに幼児の手の届かないところに保管してください。
3. 万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため直ちに医師とご相談ください。

⚠ 注意

1. 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2. この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3. 「常温（5℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると、電池が漏液したり、電池寿命が短くなることがあります。

防水性能

日常生活用強化防水（10気圧防水）ですので雨天時や水泳などのスポーツ時でもご使用いただけます。

⚠ 警告

この時計はスキューバーダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないで下さい
BAR（気圧）表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウオッチをご使用下さい。

⚠ 注意

※時計内部にも多少の湿気がありますので、外気の温度が時計内部より低い時、ガラス面にくもりがでる場合があります。くもりが一時的なものの場合、支障はありませんが、長時間消えない時は、お買い上げ店にご相談ください。
※水分がついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入る場合があります。
※水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けて下さい。
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。
※入浴やサウナの際はご使用を避けてください。
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまうからです。
※直接蛇口から水をかけることは避けてください。
水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

日常のお手入れについて

●ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。

●本商品をはずしたときは、柔らかい布などで水分をふき取るだけで、汚れや、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。

●ウレタンバンド等軟質プラスチックでできているバンドは、特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどいときには石鹸水で洗ってください。化学製品ですので、溶剤によって変質することがあります。
通常数年のご使用で材質が硬化してきたり、色があせたりする場合がありますので、その際は新しいバンドに交換してください。

かぶれやアレルギーについて

●バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。

●かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。

●かぶれの原因として考えられるのは、
①金属・皮革に対するアレルギー
②本体やバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。

●万一肌などに異常が生じた場合は、直ちに使用を中止し、医師にご相談ください。

保管について

・「－5℃～＋50℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。

※この時計は常温（５℃～35℃の範囲内）において安定した精度を得られるように調整してあります。よって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどればもとの精度にもどります。

・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。

・強い振動のあるところに放置しないでください。

・極端にホコリの多いところに放置しないでください。

・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの－ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など－水銀、ヨウ素系消毒液など）

・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

定期点検について

・ながくご愛用いただくために、２～３年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水や水分の侵入などをお買い上げ店で点検をご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。

11 補修用性能部品について

・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常７年間を基準としています。
正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
・修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買上げ店とよくご相談ください。
・修理のとき、代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

12 アフターサービスについて

・万一故障した場合には、お買上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
・修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点はセイコーエスヤード株式会社へお問いあわせください。
・保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

13 製品仕様

1．水晶振動数　・・・・・32,768Hz（Hz＝1秒間の振動数）
2．精度　・・・・・・・・・平均月差±30秒（気温5℃～35℃において腕につけた場合）
3．作動温度範囲　・・・・ー5℃～＋50℃　　ただし表示機能は0℃～＋50℃
4．表示体　・・・・・・・・FE（電界効果）型ネマチック液晶
5．使用電池　・・・・・・・小型リチウム電池 SBーT51（CR2032）：1個
6．電池寿命　・・・・・・・約3年
7．内部照明　・・・・・・・EL（エレクトロルミネッセンス）
8．電子回路　・・・・・・・CーMOSーLSI　2個
※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

セイコーライフスポーツシリーズについて、修理その他のご相談は、「お買い上げ店」でうけたまわっております。
なお、ご不明な点は下記へお問い合わせください。

セイコーエスヤード株式会社
〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町2-1-10
（03）5296-6315
（お電話の受付時間：年末年始、土日祝日をのぞいた
平日午前9:00～午後5:30）

切り取り

無料修理規定

1．お買い上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で故障した場合には、この保証書を添えてお買い上げ店にご依頼ください。無料で修理・調整いたします。
2．保証の対象部分　　時計本体（バンドは対象外です。）
3．保証期間内あるいは保証対象部品であっても次の場合は有料修理になります。
　1）電池交換（取扱説明書をお読みください。）
　2）誤ったご使用や、不注意による故障・損傷、および不当な修理や改造による故障・損傷
　3）火災・水害または地震などの天災地変による故障・損傷
　4）ご使用により生じる外観上の変化（ケース・ガラス・バンドの小キズなど）
　5）本書に販売店名およびお買い上げ月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
　6）本書のご提示がない場合
4．保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は弊社にお問い合わせください。
5．修理の際、ケース・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。
6．修理用部品の保有期間や修理できる期間などについては取扱説明書をご参照ください。
7．本書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

切り取り